

科目名称：	キャリアセミナー I	
担当者名：	新井 浩	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	講義	1
授業の目的・テーマ		
美術学科の学生は、学校で行ってきた制作と卒業後の進路のギャップに悩むケースが多く、そのため自分の希望する働き方を決定できずに就職活動の開始時期が遅くなりがちです。学生にとって身近な存在である美術学科の卒業生の事例を多く紹介し、それぞれの将来像をイメージします。また、自分の進路決定に対して前向きになることも目的です。		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動の流れを知る。 ・自分の興味などから、進路について考えを深め将来をイメージできる。 ・話し方や身だしなみなど、人に与える印象を意識して振る舞えるようになる。 ・授業レポートなどを通し、考えを文章にして表現できる。 		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP (1)	建学の精神「遊学の精神の涵養」と設立の理念「金城から地球を歩こう」を基に、基礎知識を修め、地域社会を理解するとともに多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	○
DP (2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、それぞれの専門分野において貢献できる実践力を身につけている。	
DP (3)	多様な社会に対応できるよう豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP (4)	学生一人ひとりが、様々な課題に取り組み解決する学修経験を積み重ねることで、その場の状況に応じた活用力が身についている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP (1)			60	40	100
全学DP (2)					0
全学DP (3)					0
全学DP (4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）
なし	

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 美術学科の就職・就職活動の実際 グループワークを活用し、現在の希望を共有	先輩達の進路状況を踏まえ、将来の進路について友人や家族と議論しておく。	60分
第2回 就職支援講座(業種と職種 先輩の進路)	第2回「業種と職種」のプリントを復習。	60分
第3回 就職支援講座(業種と職種 求められる技能)	「コンピテンシー」についてインターネット等で調べ、求められる技能について理解を深める。	60分
第4回 就職支援講座(フリーターと正社員 一般職と専門職)	一般職と専門職のふりとを復習し、美術領域の専門職で働く事について議論しておく。	60分
第5回 コミュニケーションワーク① 印象 グループワークを行いディスカッションを行う。	第5回「印象」の内容を復習し、日常の中で実践してみる。	60分
第6回 コミュニケーションワーク② 話し方 グループワークを行いディスカッションを行う。	第6回「話し方」の内容を復習し、日常の中で実践してみる。	60分
第7回 自己分析1 長所と短所	第7回「自己分析」のワークシートを埋めておく。	60分
第8回 自己分析2 自己PRを書いてみる	論理的な文章の書き方についてのプリントを復習する。	60分
第9回 2年生の講話①	2年生の決定した進路先について調べる。	60分
第10回 2年生の講話②	2年生の決定した進路先について調べる。	60分
第11回 ビジネスマナー 生活を振り返って	第11回ビジネスマナーのプリントを復習し、日常の中で実践してみる。	60分
第12回 企業研究① 地元企業を知る	親や友人と地元の企業について話しをする。	60分
第13回 企業研究② インターネットを使った情報収集	授業で学んだ手順で、さらに企業のHPを調べてみる。	60分
第14回 メイクアップ講座	第14回メイク、身だしなみについてのプリントを復習。	60分
第15回 まとめ 春期休暇の取り組みについて	春期休暇中の就職活動イベントについて、下調べをしておく	60分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。授業で配布したプリントを復習し日常的に実践をしたり、就職ということについて日常的に友人や両親と話あえる関係をつくる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
(授業における積極的関与) 40% 私語や演習への取り組みが著しく悪い場合、マイナス評価とする。
(提出物) 60% 各授業で課した小レポート内容の充実度。

課題に対するフィードバック

提出課題に応じ、次回の授業において抜粋してコメントする、または個別に添削し返却する。

教科書・参考書

(参考書) さすがと言われるビジネスマナー完全版(高橋書店)・クリエイティブ業界に就職するためのポートフォリオの見本帳(MdN)